

美術科シラバス（第3学年）

指導の方針

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざして

- ・対象を深く感じ取る力や想像力を一層高め、内面的により価値を置いた表現を身に付けさせる。
- ・美意識を高め、生活をより豊かにする美術の働きを理解させる。

○思考力・判断力・表現力その他の能力の育成をめざして

- ・独創的・総合的な見方や考え方を培い、形や色彩の特徴などを基に対象のイメージをとらえる。
- ・自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫し、制作の手順を考え、見通しを持って制作させる。
- ・作品などに対する思いや考えを説明し合い、見方や感じ方を広げる。

○主体的に学習に取り組む態度の確立をめざして

- ・授業六束を基本に、教科の特性を生かしながら指導を徹底する。
- ・生徒作品の展示を積極的に行い、鑑賞活動を通して制作意欲を高め、他者理解ができるようにさせる。

評価の観点と評価規準

評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
評価の観点	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
評価の資料 (学習のポイント)	授業態度、 提出物、忘れ物、自己評価カード、 ポートフォリオ	制作時の発想やアイデアスケッチ、 構想や制作計画、 ワークシート	制作した作品、適切な道具の使い方

評価と評定の関連

十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの：A○

十分満足できると判断されるもの：A

おおむね満足できると判断されるもの：B

努力を要すると判断されるもの：C○

一層努力を要すると判断されるもの：C

※評定（5段階）は、各観点の評価（A○＝5点、A＝4点、B＝3点、C○＝2点、C＝1点）

をもとに算出します。評価と評定の関連は、下表（例）のとおりです。

各観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	評定
^{マル} A○ ^{マル} A○ ^{マル} A○	15点	^{マル} A○ ^{マル} A○ A	14点			5
^{マル} A○ A A	13点	A A A	12点	^{マル} A○ B B	11点	4
A B B	10点	B B B	9点	B B ^{マル} C○	8点	3
B ^{マル} C○ ^{マル} C○	7点	^{マル} C○ ^{マル} C○ ^{マル} C○	6点	^{マル} C○ ^{マル} C○ C	5点	2
^{マル} C○ C C	4点	C C C	3点			1

学習内容と学習のポイント

月	学習内容	学習のポイント
4 5 6 7	自分とは何？ ～15歳の肖像～ 自分を表す自画像・物・場所を描く【絵画】	<ul style="list-style-type: none"> 自己を深く見つめ、自分の表現したい主題を意識し、意欲をもって主体的に制作する。 3年間で身に付けた技能を発展・応用し、豊かな表現ができるよう工夫する。 制作するものの特徴をとらえ、形や色彩、構図、また表現方法や素材などを工夫して制作する。 鑑賞活動を通し、自他の作品の良さを味わう。
8	《夏休み課題》 ・絵本のストーリーを考える ・ポスターOR風景画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間の人生をふりかえり絵本制作に向けたオリジナルストーリーを考える。
9 10 11 12	絵本作家に学ぶ。【鑑賞】 【デザイン】 願いを伝える絵本とは ～15年間を込めて～	<ul style="list-style-type: none"> ディック・ブルーナの仕事【鑑賞】 絵本の表現に関心をもち、制作の楽しさを味わう。 「願い」を伝えるために効果的表現を工夫する。 形や色彩がもたらす効果を考えながら、粘り強く最後まで制作する。 鑑賞活動を通し、自他の作品の良さを味わう。
1	絵本フェスティバル鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 友達の絵本表現のよさに学ぶ【鑑賞】 鑑賞活動を通し、自他の作品の良さを

2	タイムカプセル【立体】 ～30歳の自分へのメッセージ	味わう。 ・中学校3年間の思い出や将来の夢について関心を持ち、主体的に制作する。 ・材料の特性を生かし、部分と全体の意匠を工夫しながら粘り強く制作する。
3	三年間の美術の学びをふりかえる	